

古墳のさと

群馬総社駅

前橋市の駅シリーズ



○ として保存しておいてください いくつかまた お役にたつことと思います ○

○国鉄上越線、群馬総社駅の朝。人影もまばらなホームに、上り列車がはいってくる。下り客は、市内の高校へこれからバスに乗りかえたり、自転車を通う学生たちと、総社地区の工場への通勤者が殆ど。短かい停車で列車が去ると、駅には再び静寂がもどってくる。

家と一面の桑畑の中にできた駅。国鉄の幹線にある駅は、この総社駅と新前橋駅の二つだけ。客車、貨車で、一日平均四百本の列車がこの駅を通過していく。臨時も入ると、もっと多い。このうち、停車するのは、上下各二十五本ほど。前橋の西の玄関口と呼ばれながら、市街地をはなれた位置にあるため、この駅の利用者は一日平均千二百

人前後と少ない。朝夕の通勤、通学時間が過ぎると、駅はひっそりと静まる。○「それでも、これから野球や運動のシーズンになると、敷島球場や陸上競技場へ、この駅から歩いていく高校生が多いですよ。二十分ほどで行けまからね。それに、夏休みになると、総社の古墳や文化財をたずねてくる学生も多

いですよ。いちいち駅に聞かれても、くわしくは説明できませんので、文化財案内板を駅前に立てましてね。はじめて総社を訪ねてきた人に喜ばれています」とは駅員さんの話。○「古い歴史と、近代（けし）の里といわれる総社。駅前広場には、（けし）の父と呼ばれる関口専司翁の「（けし）の碑」が、早春の朝の日差しをあびて建っていた。

固定資産課税台帳の縦覧
51年度固定資産課税台帳を4月1日から20日まで市役所新館地下会議室で縦覧します。平日は、あさ8時30分から午後5時まで。土曜の午後と日曜は除きます。51年は基準年度で土地・家屋の評価額が変更になります。

広報手帳

□中央児童遊園へどうぞ
ぞらクラのつぼみもふつくと、春の陽ざしが暖かい中央児童遊園では、3月20日は祝日（春分の日）のため、通常ですとお休みですがこの日は、日曜と合わせて二日続きの連休のため、平常どおり開園し、みなさんのおいでをお待ちします。中央児童遊園の休園日は、毎週火曜日です。3月のこれからの休園は16日・23日・30日と、24日（繰替）です。

□国民年金保険料の納付3月31日まで
50年度の国民年金保険料は3月31日までにお近くの銀行、信用金庫、出張所、城南支所等で納めることになっています。お忘れなく早めに納めましょう。

□国民年金の老齢年金、通算老齢年金を受けているか
に（区画整理事業等による町名、地番変更も含みます）氏名変更、支払銀行・郵便局へ変更届を社会保険庁へ出すことになっています。これをおくと支払通知書や振込通知書が届かないことがあります。この変更届の用紙は、社会保険庁から郵送された年金証書に同封の「老齢年金のしるし」の最後のページにあります。用紙が見当たらない人は、市役所市民課19番窓口へ。この変更届は、2月15日までに提出した「現況届」とは別のものです。ご注意ください。

□市勤労青少年ホームで「教養講座」ひらく
八書道講座▽定員20人。4月7日～7月28日の毎週水曜日。材料費二千円、講師前橋高校岡庭征人さん。八華道講座▽定員20人。4月8日～7月29日の毎週木曜、材料費六千四百円、講師草月流豊島香緒さん。八茶道講座▽定員20人。4月8日～7月29日の毎週木曜、材料費三千二百円、講師江戸千家大島宗寿さん。八料理講座▽定員30人。4月8日～7月29日まで毎週木曜、材料費六千四百円、講師ホザナ料理学校石黒協さん。時間はいずれも午後6時30分から8時30分まで。申込みは3月24日から27日まで午後1時から9時までに大友町二丁目三十一五、勤労青少年ホームへ。電話での申し込みはご遠慮を。

三月 例市議会開会中

“予算審議”中心に23日まで

昭和五十一年の第一回定例市議会は、三月一日開会、二十三日までの予定で、現在開会中です。この議会は、別名「予算議会」と呼ばれているように、昭和五十一年度予算の審議を重点に、五十九議案が上程されています。一日から四日間の本会議に続き、現在「予算特別委員会」で各局ごとの予算内容の審議が続けられています。この議会最終日の二十三日の本会議で、この「予算特別委員会」の審査報告、質疑、討論、表決が行われる予定です。予算案の詳細内容については議会で可決後、四月一日づけ広報紙でお知らせいたします。この号では、三月一日の市議会本会議で市長が三十分間にわたって行った「予算説明」の概要をお知らせし、予算編成の基本的な考え方について、市民のみなさんご理解をいただきたいと思っています。



審議が続けられている3月定例市議会本会議場

新年度予算案の考え方

3月1日・市議会での市長の予算説明から

「守りの姿勢」を堅持

私は、一年前の五十年当予算説明の際、基本的な考え方として「守りの姿勢」を強調しました。このことは、不況進行の中で、税の自然増収は期待できず、特に法人関係の市民税は落ち込むであろうと予想、当初予算は手堅く編成、情勢の変化に対応し、補正予算で措置していくこととしたわけでした。

健全財政を維持

幸い、前橋市では、年度途中の事業費の減額は全く考えず、人件費の給与改定を除いて、十二月

増えた赤字団体

この国の税制と地方財政計画をそのまま受けとり、五十年当予算を編成した全国の地方公共団体の中には、事業費の大幅な減額補正

昭和51年度各会計別予算案一覧

(単位：千円)

年度 会計名		昭和5 0年度		昭和5 1年度	
		当初予算額	伸び率	当初予算額	伸び率
一 般 会 計		19,829,008	22.5%	23,322,508	17.6%
特 別 会 計	国民健康保険	3,411,669	25.0	3,949,483	15.8
	食肉処理場	41,576	73.0	38,044	△ 8.5
	中央児童遊園	38,253	31.5	54,631	42.8
	競 輪	11,595,701	36.0	10,692,368	△ 7.8
	中小企業合理化 資金貸付	27,134	13.9	28,609	5.4
	嶺 墓 園	—	—	310,050	—
	用 品 調 達	880,000	9.9	918,000	4.3
	計	15,995,333	31.8	15,991,185	0
	水 道 事 業	2,065,180	35.7	2,117,029	2.5
	下 水 道 事 業	1,702,679	1.6	1,831,237	7.6
企 業 会 計	農業共済事業	465,528	6.4	559,271	20.1
	計	4,233,387	16.4	4,507,537	6.5
	合 計	40,057,728	25.4	43,821,230	9.4

補正までに二十六億九千万円を追加して、積極的に各種事業を進めてきました。さらに五十年当には財政調整基金には全く手をつけず、これは五十一年度以降の調整財源として留保することができました。つまり、健全財政を維持できたことを確信しています。

国の予算と地方財政計画

さて、昭和五十一年度の予算編成に当たって、国の経済見通し、予算状況、さらに自治省の地方財政計画等が、地方公共団体の一応の指針となるわけです。これに対する私の見解をのべてみます。

△国の予算の特徴△

新年度の国の予算規模は二十四兆二千億、前年度当初予算比で四・一％の増です。国債発行は七兆二千七百五十億、前年当初の三・六倍となり、国債依存度は二九・九％に達し、実に三分の一近くを借金というわけです。

戦後最悪の不況のもとでの予算編成で、ある程度止むを得ないことながら、こうした膨大な借金を抱えた財政の再建を、どう調整していくかが懸念されます。

また、国の予算の中で、最も伸び率の高いのが国債償還費で前年度当初比六〇・二％、次が恩給費の三〇・七％、三番目が社会保障費の二二・四％です。逆に、伸び率の最も低いのが地方財政関係費でマイナス一・四％です。国の厳しい財政事情を、地方交付税の減額というかたちで、まともに受けるのが地方公共団体の現実の姿と予想されます。

△地方財政計画の特徴△

昭和五十一年度の「地方財政計画」をみると、その規模は二十五兆二千五百九十五億円で、前年に比べ一七・二％の増です。

この「地方財政計画」は、地方財政の標準的な指針となるもので、従来の「高度経済成長時代」には、計画と実際の決算との間に隔りがあり、計画を上回る収入によって、一部の団体では高い人件費や先取り福祉をまかなってきました。地方団体にあっては、形式的な意味しか持たない計画のきらいがありました。現在のようになく重みを増してきています。

さて、新年度の「地方財政計画」では、過去の「総需要抑制策」から、景気回復をねらう「投資的経費の充実」へ視点をかえたのが特徴とされています。

しかし、計画の内容は深刻な財政難をみせて二兆六千億円の財源不足を示しています。この補てんを交付税特別会計の借入れや財源不足対策債の発行などでしのいでいます。このように、自主財源の低下を借金で支えた計画は、地方団体の窮乏感を更に深めるものと考えられます。いずれにしても、厳しい実情の認識が必要です。

市の新年度予算編成方針

私は、ことし一月一日の広報紙の中でも書いたのですが、地方財政の危機は、昭和五十一年が最悪の難所だと思っています。しかし、五十二年も決して楽観はできず、地方財政に税収等影響が出て上向きになってくるのは、五十三年度頃と考えてよいと思います。

このため、現在、積み立ててあります十三億円の「財政調整基金」を、五十一年度から五十二、五十三年度と財政需要と見合わせながら有効適切に使い、この危機をしのぎ切っていくつもりです。

このような財政事情を背景として五十一年度予算の編成は、なかなか容易でなかったわけです。各種の施策、要求を細部にわたって検討しましたが、特に経常的事務経費は厳しく見直しを行い、原則として前年度予算の範囲内に

とどめました。また、補助金・負担金についても、継続的なものは前年度の範囲内、新規分は厳選を行い、この種の経費増高を極力抑制しました。これから生まれてくる財源を投資的経費へ重点的に配慮し、市民福祉向上の諸施策をより一層推進するよう努力しました。

なお、種々の建設事業のうち、年度間において緊急を要し、補正を要するものについては、今後の経済状況、財政状況を勘案して考慮していくつもりです。

伸び率は一七・六％に
こうした方針で編成した昭和五十一年度予算は、一般会計で二百三十三億二千二百万円、前年度に比べ三十四億九千三百萬円の増、伸び率一七・六％です。この伸び率は、国の予算の一四・一％、地方財政計画の一七・二％をいずれも上回っています。

なお、各会計別の予算額ならびに一般会計各款別予算の状況は別表のとおりです。

歳入の見通し

△市税△市税総額は九十四億四千六百万円で、前年度に比べ一〇・一％増の見込みです。

まず、「個人市民税」ですが、給与、営業等の所得では、わずかながら前年度より増加の見込みです。ただ、譲渡所得は依然として激減する予想で、総体的には所得金額の伸びを二・九％と予測しました。しかし、前年度に給与所得の伸びを三〇％と見込み、実際には一六・七％しか伸びなかったことと、給与所得控除の平年度化に伴い、当初予算対比では五千二百萬円の減収となります。

「法人市民税」については、景気の落ち込みから五十年当に引き続き減収の見込みです。つまり、本年度の当初予算としては、前年度の最終調定見込額十六億円を基礎として、その七〇％相当を本年度予算額として見込みました。

「固定資産税」については、五十一年度が「評価替え」の年に当りますので、この評価替えによる増減と、家屋の新築等による増加分を合せ、前年度より約二〇％増の収入見込額を計上しました。

昭和51年度一般会計各款別予算案

(単位:千円)

入				出			
款	当 初 算 額	構 成 比	伸 び 率	款	当 初 算 額	構 成 比	伸 び 率
1 市 税	9,446,389	% 40.5	% 10.1	1 議 会 費	242,773	% 1.0	% 2.8
2 地方譲与税	114,500	0.5	0	2 総 務 費	2,350,593	10.1	4.1
3 自動車取得税	110,000	0.5	0	3 民 生 費	4,318,023	18.5	28.2
4 地方交付税	1,598,000	6.9	0	4 衛 生 費	1,279,243	5.5	43.3
5 交通安全対策交付金	47,000	0.2	27.0	5 勞 働 費	418,300	1.8	10.6
6 分担金及び金	258,365	1.1	4.5	6 農 林 水 産 業 費	1,161,571	5.0	13.9
7 使用料及び料	460,579	2.0	43.5	7 商 工 費	1,271,240	5.5	18.4
8 国庫支出金	4,337,259	18.6	33.1	8 土 木 費	5,117,933	21.9	16.5
9 県支出金	1,094,380	4.7	24.4	9 消 防 費	717,421	3.1	21.3
10 財産取入	402,549	1.7	8.4	10 教 育 費	4,747,689	20.4	14.5
11 寄 附 金	24,952	0.1	△75.6	11 公 債 費	957,204	4.1	18.7
12 繰 入 金	933,539	4.0	65.6	12 諸 支 出 金	640,518	2.7	13.0
13 繰 越 金	50,000	0.2	0	13 予 備 費	100,000	0.4	0
14 諸 取 入	2,785,496	11.9	9.3				
15 市 債	1,659,500	7.1	57.7				
歳 入 合 計	23,322,508	100.0	17.6	歳 出 合 計	23,322,508	100.0	17.6

昭和51年度一般会計予算案性質別分類

(単位:千円)

区 分	昭和50年度		昭和51年度		伸 び 率
	当 初 算 額	構 成 比	当 初 算 額	構 成 比	
1 人 件 費	5,332,715	% 26.9	6,026,540	% 25.8	13.0
2 物 件 費	1,334,135	6.7	1,501,681	6.4	12.5
3 維持補修費	285,028	1.4	289,690	1.3	1.6
4 扶 助 費	2,275,517	11.5	2,880,132	12.4	26.6
5 補 助 費 等	1,333,428	6.7	1,495,670	6.4	12.2
6 公 債 費	805,906	4.1	957,204	4.1	18.8
7 積 立 金	215,982	1.1	260,427	1.1	20.6
8 投資及び出資金	29,304	0.2	27,301	0.1	△ 6.8
9 貸 付 金	903,150	4.6	992,094	4.3	9.8
10 繰 出 金	167,659	0.8	205,437	0.9	22.5
11 投資の経費	7,046,184	35.5	8,586,332	36.8	21.9
(1)普通建設事業費	6,841,311	34.5	8,365,222	35.9	22.3
ア補 助	4,318,634	21.8	5,124,652	22.0	18.7
イ単 独	2,522,677	12.7	3,240,570	13.9	28.5
(2)災害復旧事業費	0		0		
(3)失業対策事業費	204,873	1.0	221,110	0.9	7.9
12 予 備 費	100,000	0.5	100,000	0.4	0
歳 出 合 計	19,829,008	100.0	23,322,508	100.0	17.6

(注)伸び率は、それぞれの対前年度伸び率を示す。

- ・商工業振興の貸付、預託制度の増強 六、一七五万円
・小口資金融資等の信用保証協会出入れ金の増強による融資促進 七、四八〇万円
・勤労者生活、住宅建設融資資金の増強 六、五〇〇万円
・産業道路の舗装一、六一七万円
・勤労青少年体育センターのテニスコート整備 六、六五五万円
・農政関係
・農業後継者結婚相談事業 (新規) 二〇〇万円
・高畠育成牧場の試験放牧の開始 八、九五五万円
・市農業土木事業二、六〇八万円
・農村総合整備モデル事業の推進 (集落排水工事の実施) 一億三、一二三万円
・建設、都市計画関係
・土木関係道路、橋りょう工事費 六億七、二五〇万円
・市営住宅建設 (前年より六十一戸増の二百二十三戸) 一億九、六九二万円
・既成住宅地の住環境問題を調査する住環境モデル事業 五、〇〇〇万円
・広瀬川河畔、馬場川遊歩道整備第二次工事 一億五、〇〇〇万円
・都市緑化推進の保存樹木等指定奨励金 (新規) 一、〇三万円
・国庫補助を伴う公園整備。継続三、新規四、六、〇〇〇万円
・瀬田園特別会計設置に伴う一般会計繰入金 一、〇〇〇万円
・土地区画整理事業費
・街路事業 (九億五、三三八万円) 西部環状線立体交差の第二次次渠前通線街路緑化、両毛線立体高架化事業等 五億二、八二五万円
・教育関係
・父兄負担軽減対策の第二次 (新規・継続) 六、七三三万円
・奨学金貸付 七、七三三万円
・小学校校舎建設 (新規分) 二億九、二五六万円
・総合小体育館新築 (在来校体育館建設完了) 六、一五五万円
・朝倉、勝山小体育館建設と桃井小体育館改築 七、五〇〇万円
・元総社中学校校舎移転新築 (用地を含む) 五億八、六九八万円
・中学校校舎建設 (東中増築・桂中改築) 二億二、一五〇万円
・文化財保護事業 七、七五五万円
・体育指導の強化 二、四三三万円
・学校開放事業の全校区実施 (三十校区を四十七校区に)
- ・国民健康保険会計
・高瀬養老費の法定給付化、医療費の増高傾向に加えて、医療単価の改定も必至です。この財源としての国保税の収入は、大きな自然増は期待できない状況です。一般会計からの繰入金一億五千二百九十万円を含め、健全な国保財政の運営に努力し、施策をすすめていくことにします。
・中央児童遊園会計
・遊具のなかで、ティールアップが老朽化していますので、この場所を新しい施設としてヘリコプターを千二百四十万円で購入する計画です。この財源は、一般会計繰入金で措置します。
・土地区画整理関係
・土地開発公社による用地買収もほぼメドがつかまりましたので、五十一年度を期して墓園造成に着手しようとするものです。あらたに特別会計を設置しましたのは、将来にわたって経理の内容を明らかにしていくこととする趣旨です。
・下水道事業会計
・五十年に水道料金の改定を実施し、赤字解消に取り組みましたが、本年度は第二年度として、さらに経営の合理化等の企業努力を重ね、財政運営に万全を期するとともに、市民サービスを推進していくことにします。
・下水道事業会計
・懸案の下水処理場の汚泥焼却炉の運転が開始されますが、引き続き処理区域の拡大に備え、諸施設の整備をはかります。管渠工事についても長期計画を策定し、未実施地区へも年次計画で逐次事業を実施していくことにします。
・その他の特別会計
・従来からの基本方針を堅持し、慎重に事業の運営をはかっていくことにします。
- ・以上で、市長としての「新年度予算の説明」を終ります。この予算がみなさんの賛意を得て議決となり、実際に各部課で執行される段階になりましたら、第一に時期を得た執行を心がけ、より効果的・効率的な運営を心がけていくつもりです。さらに、事務的経費の節減にも努力し、低成長時代における職員の心がまえを、厳しく自覚させ、これを育てていく考えです。みなさんの理解と協力を心からおねがいいたします。

【2ページからつづく】
その他の税については、いずれも昭和五十年の収入見込額を基礎として状況を分析、積算しました。なお、本年度は地方税制の改正が予想され、内容としては市民税均等割、軽自動車税の引上げ、ガス税の税率引下げ、さらに固定資産税非課税規定の整理合理化などですが、現行制度によって予算計上をしたものです。
△地方譲与税、自動車取得税交付金△これについては、昨年の十二月に排ガス規制が完全実施になったことにより、需要が停滞することとが予想されますので、ほぼ前年並みと予測、五十年と同額を計上しました。
△地方交付税△これも前年度当初予算額と同額を計上しました。地方財政計画では一七・一%の伸びとされていますが、同計画の地方税収入見込みの内容を検討してみますと、道府県税が前年の九三・二%で六・八%の落ち込みがあるとしながら、逆に市町村税は前年の七・二%の伸びと見えています。このことから、地方交付税の伸び分は、道府県分に吸収されてしまうことが予測されます。このため前年度同額を見込みとしました。
△その他の歳入△

使用料および手数料の改定については、自治省通達で「地方財政の現状にかんがみ、国の予算においても公共料金等について受益者負担の原則に立脚して適正化を図ることとしていることも勘案し、使用料、手数料の全面的な適正化を図る必要がある」としています。本市でも、六十種類におよぶ使用料、手数料について検討を加えました。このうち、広く一般市民にサービスとして提供される、たとえば市民プール、児童遊園、老人福祉センター、敷島公園ボート等の利用については改定をしないこととしました。
市民生活に直接影響の少ないもので、受益者負担の原則をとるべきもの、ならびに市民生活には多少の影響はあるが、他との均衡上から最少限の負担増をしてもよいもの、を慎重に検討し、次の種類のものに限り、改定をおねがいしようとするものです。
①ごみ処理、動物の死体処理手数料②墓地使用料、管理料③畜場使用料(本市住民以外の火葬料金)④農業用機械手数料⑤道路占用料⑥用水路等使用料⑦公民館定期講座受講手数料⑧住宅使用料(厚生住宅を含み、母子住宅を除く)⑨授業料等(幼稚園保育料、女

子高校授業料、工業短大授業料、同聴講料、同入学金、同入学検定料)などです。
この改定による増収額は九千四百万円となりますが、市営住宅・厚生住宅の補修費の増額、奨学金貸付額の引上げ、短大非常勤講師の報酬引上げ、公民館定期講座講師の充実など、歳出面で所要の措置を行うこととします。
諸収入のうち競争事業収入では一般会計への純繰入額を五十年当初と同額の十四億四千万円と見込み計上しました。五十年の現計予算では十八億二千万円でありましたがこの中には特別競争開催分が含まれていたので、さらに本年十月から伊勢崎オートレースがはじまること等を勘案し、前年度と同額としたものです。
歳出面では
福祉関係の伸びが顕著
昭和五十一年度の一般会計予算を性質別に分類すると、まず、扶助費の伸びが顕著です。老人福祉関係は筆頭に、各種の「福祉予算」の伸びを示しています。
次に伸び率が高いのが繰出金の二二・五%で、国保会計、中央児童遊園会計への一般市費の補てん

額の増加が原因です。
投資的経費の伸びは二一・九%で、とりわけ単独事業は二八・五%の伸びとなっています。いずれも全体予算の伸び率を上回っています。これは経費の重点的配分を考慮した結果の現れです。
人件費と物件費は、伸び率は一三・〇%と一二・五%にとどまられています。いずれも予算全体の伸び率を下回って、構成比においては前年度より若干比率を下げています。このことは、消費的経費について極力節減することとした結果と考えています。
予算案の主要内容
本年度予算に計上した各部の主要予算額は次のとおりです。
□総務・企画関係
・生活環境整備促進のための下水道会計への一般会計繰入金 五億七、二六二万円
・町内防犯灯新設、維持費補助制度の存続 七、一九九万円
・県立前橋南高校新設、前橋高校移転寄付金 八、〇九九万円
・東部土地区画整理事業完了に伴う町内地番表示事業二〇八万円
・市立工業短大の図書館新築と備品充実 一億二、二六七万円

・次期長期計画策定事業三五五万円
・公害測定器購入 一〇四万円
・消防施設整備 五、四一三万円
・消防団車庫、改造工事等の施設整備 一、一三四万円
□民生関係
・老人クラブ助成 一、四四四万円
・母子家庭入学祝品等贈呈事業 (新規) 一七万円
・近年難病対策の対象疾患の拡大
・手話通訳派遣事業 二四四万円
・心身障害者福祉会館機能回復訓練機、障害者用印刷機五五万円
・大友厚生住宅四十戸の建替え 一億六、二〇〇万円
・東保育所全面改築 一億一、〇〇〇万円
・休日夜間診療所設置のための建物工事費 五、〇〇〇万円
□生活環境関係
・資源再利用のための有価物回収対策として 五、〇〇〇万円
・電泉清掃工場焼却炉(50トン)の建設 七、〇〇〇万円
・六供下水処理場内のし尿消化槽の改築 七、八〇〇万円
・六供清掃工場電気集じん機の設置 一億四、七〇七万円
□商工関係
・産業文化会館建設補助 一億〇、〇〇〇万円

・建設、都市計画関係
・土木関係道路、橋りょう工事費 六億七、二五〇万円
・市営住宅建設 (前年より六十一戸増の二百二十三戸) 一億九、六九二万円
・既成住宅地の住環境問題を調査する住環境モデル事業 五、〇〇〇万円
・広瀬川河畔、馬場川遊歩道整備第二次工事 一億五、〇〇〇万円
・都市緑化推進の保存樹木等指定奨励金 (新規) 一、〇三万円
・国庫補助を伴う公園整備。継続三、新規四、六、〇〇〇万円
・瀬田園特別会計設置に伴う一般会計繰入金 一、〇〇〇万円
・土地区画整理事業費
・街路事業 (九億五、三三八万円) 西部環状線立体交差の第二次次渠前通線街路緑化、両毛線立体高架化事業等 五億二、八二五万円
・教育関係
・父兄負担軽減対策の第二次 (新規・継続) 六、七三三万円
・奨学金貸付 七、七三三万円
・小学校校舎建設 (新規分) 二億九、二五六万円
・総合小体育館新築 (在来校体育館建設完了) 六、一五五万円
・朝倉、勝山小体育館建設と桃井小体育館改築 七、五〇〇万円
・元総社中学校校舎移転新築 (用地を含む) 五億八、六九八万円
・中学校校舎建設 (東中増築・桂中改築) 二億二、一五〇万円
・文化財保護事業 七、七五五万円
・体育指導の強化 二、四三三万円
・学校開放事業の全校区実施 (三十校区を四十七校区に)

・国民健康保険会計
・高瀬養老費の法定給付化、医療費の増高傾向に加えて、医療単価の改定も必至です。この財源としての国保税の収入は、大きな自然増は期待できない状況です。一般会計からの繰入金一億五千二百九十万円を含め、健全な国保財政の運営に努力し、施策をすすめていくことにします。
・中央児童遊園会計
・遊具のなかで、ティールアップが老朽化していますので、この場所を新しい施設としてヘリコプターを千二百四十万円で購入する計画です。この財源は、一般会計繰入金で措置します。
・土地区画整理関係
・土地開発公社による用地買収もほぼメドがつかまりましたので、五十一年度を期して墓園造成に着手しようとするものです。あらたに特別会計を設置しましたのは、将来にわたって経理の内容を明らかにしていくこととする趣旨です。
・下水道事業会計
・五十年に水道料金の改定を実施し、赤字解消に取り組みましたが、本年度は第二年度として、さらに経営の合理化等の企業努力を重ね、財政運営に万全を期するとともに、市民サービスを推進していくことにします。
・下水道事業会計
・懸案の下水処理場の汚泥焼却炉の運転が開始されますが、引き続き処理区域の拡大に備え、諸施設の整備をはかります。管渠工事についても長期計画を策定し、未実施地区へも年次計画で逐次事業を実施していくことにします。
・その他の特別会計
・従来からの基本方針を堅持し、慎重に事業の運営をはかっていくことにします。

昭和50年度の 市政日記



10月1日完成した、中央大橋先の上越線立体交差

4月

1日 〇〇市立図書館で郷土詩人展ひらく（22日まで）
6日 〇〇前橋駅前南口第二地区画整理事業が認可。51年度から事業に着手予定。
7日 〇〇前橋駅前南口画整理事業が追加認可（六供町・天川原町の各一部）
8日 〇〇南橋公民館が落成（力丸流通センターが新築）第一次芳賀西部工業団地遺跡発掘調査はじまる（7月31日まで）
10日 〇〇市立工業短大で入学式。
13日 〇〇県議選投票日。
14日 〇〇農業委員に辞令交付。
15日 〇〇緑の羽根募金運動はじまる。緑化推進のため苗木をくばる（中央駅前ほか）〇〇草刈り条例が制定。
16日 〇〇勤労青少年体育センターがオープン（大友町）。
17日 〇〇春の水と緑の月間行事はじまる。〇〇人生記念樹、市の木制定植樹祭（元総社2号公園、新東橋公園）。桃木川畔にさくら植樹。
18日 〇〇山村暮鳥詩碑除幕（中央大橋川畔）。
26日 〇〇清里小学校体育館落成式。

5月

1日 〇〇水道料金が改定。
2日 〇〇城南土地改良区が発足。
3日 〇〇下増田農村公園が開所。
〇〇緑の月間でバラ園前で苗木二千本を配布。
5日 〇〇伸びゆく子どものつどいひらく（子ども公園）〇〇文学の小

径の除幕。〇〇市立図書館で郷土詩人展ひらく（22日まで）
6日 〇〇前橋駅前南口第二地区画整理事業が認可。51年度から事業に着手予定。
7日 〇〇前橋駅前南口画整理事業が追加認可（六供町・天川原町の各一部）
8日 〇〇南橋公民館が落成（力丸流通センターが新築）第一次芳賀西部工業団地遺跡発掘調査はじまる（7月31日まで）
10日 〇〇市立工業短大で入学式。
13日 〇〇県議選投票日。
14日 〇〇農業委員に辞令交付。
15日 〇〇緑の羽根募金運動はじまる。緑化推進のため苗木をくばる（中央駅前ほか）〇〇草刈り条例が制定。
16日 〇〇勤労青少年体育センターがオープン（大友町）。
17日 〇〇春の水と緑の月間行事はじまる。〇〇人生記念樹、市の木制定植樹祭（元総社2号公園、新東橋公園）。桃木川畔にさくら植樹。
18日 〇〇山村暮鳥詩碑除幕（中央大橋川畔）。
26日 〇〇清里小学校体育館落成式。

6月

1日 〇〇全国水道週間にならみ、浄水場などを一般公開。〇〇バラ園前でまちを緑にする会がバラ苗木一万本を頒布。〇〇アメヒト防除はじま

7月

1日 〇〇国保助産費支給額2万円が4万円にアップ。〇〇交通災害共済の契約が更新。
10日 〇〇養護学校プールが完成。
〇〇芳賀団地の分譲受付（百九十二区画）〇〇前橋七夕まつり（14日まで）
14日 〇〇市の人口25万人となる。全国で六十五番目。〇〇東部第二土地画整理事業はじまる（8年間、六億円の事業費）
20日 〇〇前橋市立中学校総合体育大会はじまる（二千三百人が参加）
22日 〇〇桂葉小学校校舎増築工



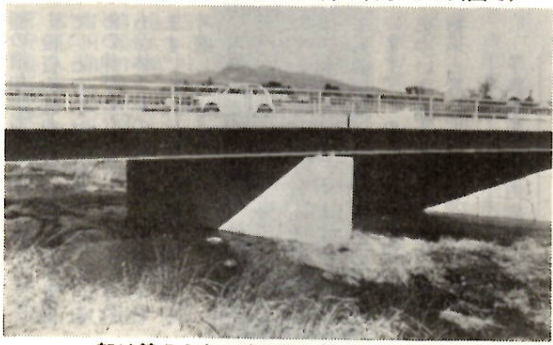
伸びゆく子どものつどい（5月5日子ども公園で）

8月

1日 〇〇蛇穴山古墳の発掘調査はじまる（14日まで）〇〇市議会で虚礼廃止申し合わせる。
12日 〇〇冠婚葬祭簡素化運動提唱会議ひらく（市水道ホール）
15日 〇〇第三中学校校舎改築工事が完成。
18日 〇〇山王庵寺発掘調査（31日まで）
26日 〇〇前橋地区勤労者美術展ひらく（31日まで）

9月

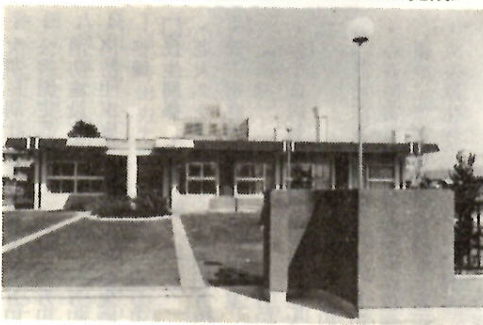
1日 〇〇町内野球大会はじまる。駒形パイパスが開通。
4日 〇〇日吉町区画整理事業実施計画の変更認可。51年度から具体的な事業着手予定。
8日 〇〇第二次芳賀工業団地遺跡発掘調査（24日まで）
11日 〇〇市議会定例会はじまる（23日まで）
13日 〇〇群馬県会館で市民野鳥の夕べひらく。
14日 〇〇桃木川畔で親子サイクリング。
15日 〇〇市民バレーボール大会。敬老の日。各地で敬老行事（市の90歳以上のおとしより百五十一人に祝品）〇〇市の「水と緑の月間」はじまる（10月中旬まで）



架け替えられた白川橋（11月1日完成）

10月

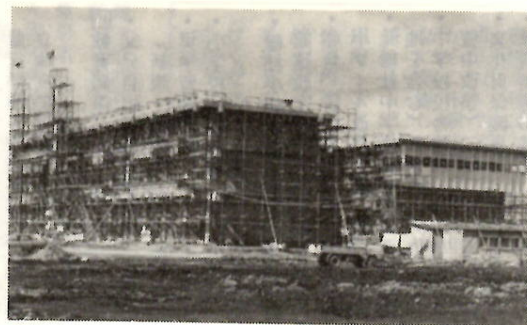
1日 〇〇国勢調査実施。〇〇国保で三万円をこえる高額療養費が法定給付になる。〇〇中央大橋先の上越線立体交差が開通。〇〇児童手当額を引き上げ五千円に。
3日 〇〇児童文化センターで「文化の日」のつどいひらく。
8日 〇〇文化財・史跡めぐり。
10日 〇〇軟式野球大会、ソフトボール大会などスポーツ行事、各地で盛ん。〇〇前橋市発明考案展ひらく（商工会議所で）
11日 〇〇12日 〇〇前橋まつり。
14日 〇〇人生記念樹の植樹祭。
15日 〇〇下川瀬小学校が落成。〇〇前橋市第三巻を発売（限定三千五百部）
17日 〇〇前橋畜産共進会ひらく。
19日 〇〇敷島緑地で消防点検。〇〇赤城山で市民探鳥会。
20日 〇〇芳賀北部団地遺跡出土品展ひらく。
10月25日 〇〇オープンした心身障害者福祉会館（日赤病院東隣り）



架け替えられた白川橋（11月1日完成）

11月

1日 〇〇市道北部環状線の白川橋架替工事が完成。
3日 〇〇子ども公園で文学の小径文学祭開幕。
5日 〇〇6日 〇〇ひとり暮らし老人保養事業として泊旅行に90人を招待。
10日 〇〇市営住宅入居者募集。芳賀団地に百六十二戸、国領団地に七十四戸を建設。3月末で完成、51年4月入居予定。
12日 〇〇若宮小学校改築工事完成。
14日 〇〇前橋市社会教育大会ひらく。〇〇公職選挙法が改正、花輪・香典・祝儀等が規制される。
20日 〇〇市立中学校PTA研究大会ひらく。
22日 〇〇前橋子ども会絵画・書道展ひらく（中央公民館で24日まで）
23日 〇〇前橋市民芸術祭（県民会館ホールで）
24日 〇〇市子ども会育成大会ひらく（中央公民館で）
25日 〇〇秋の火災予防運動はじまる。市で総合消防訓練を実施。
26日 〇〇芳賀住宅団地を分譲（99区画を）



四月開校をめざし、急ピッチで工事が進められる朝倉小学校

12月

1日 〇〇市議会定例会はじまる（22日まで）
22日 〇〇市議会定例会はじまる（22日まで）
3日 〇〇市街化区域全域を下水道区域に。変更計画案を縦覧。
18日 〇〇都市計画に關連して市内十六か所で街路断面交通量調査を実施。〇〇前橋市公園愛護連合会総会ひらく（六十六団体が参加）
25日 〇〇歳末防火運動（30日まで）
31日 〇〇工業統計調査を実施。

1月

1日 〇〇広瀬地区の町名・地番が変更。
6日 〇〇敷島緑地で消防出だめ式。
9日 〇〇前橋市に40万人の人口。
15日 〇〇県民会館で成人祝式典。
〇〇敷島緑地で新春たこあげ大会。
22日 〇〇青少年学級実績発表会ひらく（城南公民館）
24日 〇〇第一保育所竣工。
28日 〇〇広瀬川・馬場川の遊歩道工事に着手。
31日 〇〇大根根小学校増築工事が完成。〇〇細井小学校体育館が完成。〇〇荒牧小学校体育館が完成。〇〇桃瀬小学校増築工事はじまる。

2月

1日 〇〇中央公民館で上毛カルタ競技前橋市大会ひらく。
3日 〇〇納税組合長会議ひらく。
4日 〇〇中卒新就職予定者研究会。
5日 〇〇6日 〇〇生涯学習発表会。
10日 〇〇新生活運動実績発表会ひらく（芳賀公民館で）
18日 〇〇高齢者学級実績発表会。
20日 〇〇優良従業員表彰式。技能功労者表彰。
22日 〇〇前橋連合青年団青年祭ひらく（群馬会館）
29日 〇〇第10回市民展（3月7日まで中央公民館で）

3月

1日 〇〇市議会定例会（23日まで）
6日 〇〇市民展授賞式（自民会館）
9日 〇〇婦人・家庭教育学級実績発表会（市立図書館）
3月中旬以降 〇〇勝山小学校新築工事中。〇〇朝倉小学校新築工事中。〇〇東小学校校舎工事中。〇〇桃瀬小学校増築工事中。〇〇南橋中学校増築工事中。〇〇農業関係総合表彰式。

住所が変わったときは 必ず届け出を！

三月から五月にかけては、転勤や就職、入学、住居の新築などが非常に多くなります。このような転勤や就職などによって、住所が変わったり、世帯主が変わることも少なくありません。こんなときは、必ず「住所や世帯の変更の届出」をしなければなりません。

こんなとき	届け出は	手続	持参するもの	参考
○本市へ転入したとき	転入届	転入した日から十四日以内に、前住所の市町村長が発行した転出証明書添えて届出	○転出証明書 ○国民年金手帳 ○国民健康保険証 ○印鑑	
○よその市町村へ転出するとき	転出届	転出前に、あらかじめ届け出	○国民年金手帳 ○国民健康保険証 ○印鑑	転出証明書を交付します
○本市の中で住所を変えたとき	転居届	転居した日から十四日以内に届け出	○国民年金手帳 ○国民健康保険証 ○印鑑	
○世帯主を変えたとき	世帯変更届	世帯・世帯主を変えた日から十四日以内に届出	○国民健康保険証 ○印鑑	



1日平均950人の市民がおとずれる市民課窓口センター

届け出が必要なのは

市役所では、住民のみなさんがたの居住関係を証明したり、選挙をはじめ、学校、保育所、国民年金、国民健康保険など、住民の生活にたいする事務処理のために、住民の「住民票」を備えて、常に正しい行政事務を行うためにこの台帳を記録管理しています。

このため、この「住民票」は、常に住民のかたの居住の実態と一致するものでなければなりません。

転勤や就職などによって、住所や世帯主が変わったときは、その居住や世帯の実態に応じて、市の事務処理を正しく行うために、常に正確な「台帳」として備えておく必要があるわけですね。

それには、住民のみなさんがたが住所や世帯主に変更があったときは、十四日以内（転出届は転出前に）に、必ず届け出をしていただくことが前提となります。

届け出をしないとい

もし、住所などに変更があっても届け出をしないままに、遅くたってから届け出をしたときは、住民票と住民のかたの居住の実態が違ふため、市の事務に支障があるばかりでなく、届け出を怠ったかたにも、色々と迷惑がかかることとなります。

たとえば――①よその市町村から転入してきたも、前橋市で選挙ができない。②転居先の学校や保育所へ入れない。③国民健康保険証などの交付が受けられない。④転居後の住所による住民票や印鑑登録証明書などの交付が受けられない。⑤市や、よその機関などからの通知、連絡とか郵便物の配達にスムーズにいきません。など、数えればきりがありません。

このように、住所変更などの届け出をしないために、市民として受けられる行政上のサービスも一部制約され、しかも、理由もないのに届け出をしないかたは、法の定めるところによって過料を科せられることとなります。

転勤や就職、入学、住居の新築などによって、住所や世帯主が変わったときは、本人（本人ができないときは世帯主）が十四日以内に次の手続をすることによって、必ず届け出をしてください。

届け出の手続きは

なお、市からの通知や交付を受けた住民票などによって、住所、氏名、氏名の読みかた、生年月日などに違いがあることを知ったときは、すみやかにご連絡してください。

その他の届け出

このほか、住民基本台帳に関する届け出には、氏名変更、出生、婚姻、死亡などがあります。いずれも戸籍法に基づいて、届け出をしていただく必要があります。

住所の表示は詳細に

住所の届け出は、親せき、知人方に同居するようなどときやアパート、市営住宅などの中高層建物に同居するときは、その建物の番地だけでなく、〇〇方、〇〇アパート、または〇〇棟、〇〇号と、できるだけ詳細に届け出てください。

番地だけの表示では、自治会を通じての市からの文書、通知などの配付が困難であり、また郵便物が届かないようなことも起こりかねません。なお、住所の変更、その他不明の点がありまして、市役所市民課（一階窓口センター・電話24局一一一内線三三三・二六七）または城南支所（電話68局二一一三）へお問い合わせください。

児童文化センター 行事案内

電話24局二五四八

自転車の安全な乗り方を身につけよう

三月二十八日（日）午前九時から十時まで。対象は小学校三年生六十人。内容は、発進の仕方、交差点の右折の仕方、踏切の渡り方など。費用は無料。

希望者は三月二十一日（日）から受け付けます。電話または直接来館して申し込みください。

【こども映画会Ⅱ】のしみながら知識や理解を深める科学や記録映画、交通安全映画、おもしろいものが映画などを上映します。

三月二十一日（日）午後一時三十分から三時まで。今日は「マッパの少女」「北風のくれたテール」を上映します。自由に参加できますが、視聴覚室の定員は百人です。お早目においでください。

歴史教室「バスに乗って郷土の史跡について学習しよう」

三月二十一日（日）午前九時から午後三時まで。対象は小学校五年生以上中学生まで四十人。参加費は無料。講師は県教委文化財保護課、阿久津宗二さん。今回は渋川方面で、双林寺、三原田歌舞伎の舞台、渋川市周辺の城跡などを見学します。

当日は、弁当、筆記用具、水筒（もっている人）帽子、ビニールふろしきを用意してください。希望者は三月十七日（水）から受け付けます。電話または直接来館して申し込みください。

月曜・土曜が混雑 二時以降がすきます

市民課窓口

一日平均九百五十人が訪れる市民課市民課の窓口――みなさんが戸籍の謄抄本や住民票の写し、印鑑登録証明書などの交付を受けようとするとき、いつも待たされるので困るという声を、しばしば耳にします。みなさんの待ち時間

を少しでも短かくと、窓口の係員は努力しています。ところで、この窓口で特に混雑するのは土曜日と月曜日です。土曜日は、昼までの半日にもかかわらず平均六百六十人、月曜日は千八百人と、平日より三百人も多くの人た

ちが訪れます。さらに、これから五月までの転勤や転入学期には、一日千五百人以上のかたが、窓口に来ます。また、一日のうちでも窓口が混み合うのは午前十時から午後二時ごろまでです。この時間内に、平均五百五十人、あさ八時半から十時までは、午後二時以降は比較的にすいていて四百人程度のお客さんです。みなさんがいろいろの手続ときは、土曜・月曜を避け、時間は午前十時ごろまでか、午後二時以降にされると、比較的待ち時間が短かくすみます。

前橋市の文化財

④

蛇穴山古墳

総社町には、国指定史跡が四つある。総社二子山古墳、山王庵寺、宝塔山古墳、そして今回紹介する蛇穴山古墳である。

蛇穴山古墳は、総社小学校の校庭の南に接して、高さ四メートルの墳丘となつてゐる。所在地は、正確には総社町総社一、五八七の二番地となつてゐる。

この古墳は、終末期の立派な横穴式石室をもつ古墳として知られてゐる。昭和四十九年十二月二十二日、国指定史跡とされ、昭和五十年度の国庫・県費補助で発掘調査と整備事業がされてゐる。

整備に先だつて、市教育委員会が主体となつた調査が昨年八月に実施された。

その結果、墳丘は、南北の長さが三十九メートルの方墳であることが判明した。さらに、石室の玄門前には墓前祭祀の場とみられる前庭が、ほぼ整備された形で発見された。



国指定史跡にされている蛇穴山古墳

これらの寸方は、玄室の長さ三メートル、幅二・六メートル、高さ一・八メートル、玄室奥壁から前庭端まで八・四メートル、前庭幅六・三メートルとなつてゐる。

これらの数値は、玄室幅を除いた長さで、玄室幅を除いた長さで、三センチを一尺とする唐尺で、ほとんど誤差もなく換算されている。

この石室は、天井、奥壁、左右壁とも一枚の輝石安山岩でつくられ、それぞれ縁を切り組ませてゐる。しかも、壁面には漆喰（しっくい）の痕跡をとどめてゐる。

玄門（石室入口の石）は、奥幅が九十センチ、前幅を八十センチとして、室内を広く感じさせるよう、石材を加工してゐる。また、玄門前からみると、両側の門柱状の石と、その上の石に切り込まれた倉庫（がん）のような彫りこみは玄門から前に一部敷かれてゐる石とともに、よく調和してゐる。さらに玄門前には、前庭が広がつてゐる。

この前庭の前に立ち、入口部を見ていると、ギリシャの石造建築を見ているような感じがする。門柱状の石がふつくとしたエンタシスの造作のためである。

この古墳は八世紀の構築と考えられてゐる。唐の都の国際的な文化が伝わってきたものであろう。玄室壁面に見られる漆喰、その他の構築の技術等とともに注目される。今後、この古墳は、いろいろな意味で興味を深められ、重要性を増すことだろう。

新生活運動シリーズ⑧

冠婚葬祭簡素化
お返し辞退運動

私のひとこと

この町も申し合わせどおりやっています。非常によいことだと思えます。実際に葬儀に参列し、



重典千円以内と信しました。香典千円以内と、中野いうなら、む

取り決め後、最初に葬儀をした施主側として、簡素化お返しなしには戸惑いました。まあこれが軌



千円程度でよいでしょう。徹底してもらいたい。 (下増田町一六五三六、国鉄職員・54歳)

葬儀、結婚式に出席しましたが、どちらも千円でお返しなしでした。親戚は別ですけどね。この取り決



ふを願っています。以前、立堀ち消えになつた例がありますからね。続いてくれればお互いによいことです。 (上泉町三三三、主婦・67歳)



町の取り決めは早かったですね。みんな喜んでいてのことです。金額は千円以内ということ。町全

温水プールで
トレーニング講習会

対象は小学1・2年生と中高年者



各種の運動器具が備えてあるトレーニングセンター

温水プール・トレーニングセンターでは、みなさんの運動不足をおきなうため、トレーニング講習会をひらきます。対象は小学校一・二

中高年者トレーニング講習会

受講資格は、三十歳代から六十歳代までの男女。定員三十人。講習は、男女一般コースのプログラムを中心に行います。

申込期間は、三月二十七日・二十八日の両日、午前十時から午後五時まで。定員になりしだい締め切ります。経費は前納で二十一回分二千円。

中高年者トレーニング日程 4月2・5・9・12・16・19・23・26・30日、5月3・7・10・14日、6月4・7・11・14・18・21・25

・28日。毎週月、金曜日。時間はいつでも午前十時三十分から正午まで。

小学生体育講習会

受講資格は、小学校一・二年生(五十一年度の学年)。定員は各三十人。講習内容は、跳箱、マット、鉄棒、補強運動などを行います。

申込期間は、三月二十七日・二十八日の両日、午前九時三十分から午後五時まで。なお、定員を超えた場合は三月二十九日午前十時からセンター第一会議室で抽選を行います。

受講手続きは、三月二十九日抽選終了後から三十一日の午後五時までに、行ってください。ただし、三十日は除きます。なお、受講手続きのさい、受講生の身長、体重、胸囲を書きこんでいただきます。経費は前納で一回分三百三十円。

小学生トレーニング日程 4月2・5・9・12・16・19・23・26・30日、5月3・7・10・14日、6月4・7・11・14・18・21・25

初市まつり写真
コンテスト入選



須藤信吾さんの作品

催で行われた、前橋初市まつり写真コンテストは、百五十点の応募があり、審査の結果次のかたが入選しました。

なお、今回の入賞作品は、本年度に行われる予定の七夕まつり、前橋まつりの写真コンテスト入賞作品を総合した、三大まつり写真コンテストで競える権利を獲得したことになります。

入賞者名 前野福(下小出町) 長島幸三(南町三丁目) 根岸道夫(朝日町一丁目) 中村日出男(山王町) 斎藤政太郎(西片目町) 福本利之(北代田町) 石原章二(昭和町二丁目) 須藤信吾(若宮町二丁目) 柿沢和夫(南町二丁目) 小栗昌益(千代田町一丁目) 関口勇(天川大島町) 小菅雪江(城東町二丁目) 中島隆夫(北群馬郡吉岡村) 神久勇、中里正次郎(若宮町四丁目)

市観光協会、市商工会議所の主

優良納税貯蓄組合
納税功労者を表彰

二月二十四日市水道会館ホールで開かれた、優良納税貯蓄組合・納税功労者表彰式で、次のとおり優良組合と功労者が表彰されました。

優良納税貯蓄組合
岩神三組(土橋健治) 西岩神町六組(岡部虎雄) 昭和町二丁目萩(宗像常善) 平和町二丁目第五組(村山喜作) 細ヶ沢第一(河島男) 住吉町二丁目第一(萩原辰雄) 協和(村上西男) 日吉町四丁目寿田中寛弘 城東町一丁目第七組(田島功) 城東町二丁目第七(大沢正久) 紅雲町第八組(鈴木柳子) 千代田町五丁目十四組(稲村春太) 千代田町四丁目十三組(小林旭)

田町第三(田中和郎) 表町二丁目田中第五(美濃部登作) 三河町一丁目第六組(野口定吉) 三河町一丁目第九(田子喜太郎) 三河町一丁目第十(安藤康次) 百軒三山(大津政一) 新町六組(本井三男) 百軒第十組(山田一) 新町第七組(谷内田惣作) 文京町一丁目第十組(渡辺松太郎) 宮地町第一(細野時次郎) 公田町第二(町田肇雄) 新堀町第一(田村堅之進) 下阿内町第三(関貞治) 力丸町第四(羽鳥政男) 房丸町第二(新井正一) 勝沢町北部(中根蔵

雄) 小坂子町第四区(木村貞吉) 下沖町第二(関野国治) 東片目町第二(木村明) 上泉町三区(北爪利作) 上泉町東原(村田貞三郎) 上泉町赤坂(島田貞三) 亀泉町第三(川野張平) 江木町第二(北爪由太郎) 江木町第三(町田清一) 前箱田町前箱田(八木秀雄) 川曲町川曲(岡田菊子) 石倉町第九区第五(牧トシ子) 上小出町築場(石沢安造) 龍蔵寺町中組(渋谷保治)

奈佐俊治(昭和町二丁目) 横田清平(住吉町一丁目) 豊島昌治(若宮町一丁目) 山岸春雄(若宮町二丁目) 小林春夫(若宮町三丁目) 星野武之助(日吉町一丁目) 若井昌幸(城東町三丁目) 上野芳三(大手町二丁目) 森本三三(大町二丁目) 長屋文雄(紅雲町一丁目) 時田力太郎(紅雲町一丁目) 島田本次(千代田町一丁目) 田中八代枝(千代田町一丁目) 北爪茂松(千代田町一丁目) 五十嵐羊之助(若宮町一丁目) 関谷広輔(千

市立図書館

だより

古街道の本のついで

3月の本のついで「古街道」をとりあげて、3月27日(土)午後1時30分から3時30分まで、市立図書館講堂でひらきます。当日は群馬県文化財専門委員萩原進さんの「上州の関所の裏と表」と題する講演と、交通史に関する図書約百五十冊が展示されます。みなさんでお出かけください。

中小企業事業
資金融資案内

中小企業の運転資金、設備資金融資制度として、次の二つの制度があります。常時ご利用ください。申し込みは、常時行っています。

この制度は、市内中小企業者の運転資金の供給を円滑化し、中小企業の振興をはかるためのものです。対象は、市内の中小企業者。ただし、中小企業信用保証法に定める業種。融資額は四百万円以内。融資期間は三年以内。融資利率は年八〇。保証料〇・二。取扱金融機関は、市内各銀行、相互銀行、信用金庫、信用組合です。

この制度は、小口資金融資制度の上乗せ制度で、小口資金制度でなお資金の不足する場合は、この制度も併用できます。対象は市内の中小企業者。ただし、中小企業信用保証法に定める業種。融資額は、運転資金三百万円以内、設備資金五百万円以内。融資期間は、運転資金三年以内、設備資金五年以内。融資利率は年八・二五。保証料〇・五。取扱金融機関は、群馬銀行、大生相互銀行、前橋信用金庫、既成信用金庫、群馬信用組合。

詳しくは、市商政課(電話24局一三二一)または市商工会議所金融課(電話24局一五一一)へお問い合わせください。

ボランティア講座

市と市社会福祉協議会では、ボランティア活動(奉仕活動)に関心のある方を対象に、三月十九日(金)午後一時三十分から前橋市身体障害者福祉会館(日赤病院隣り)で、ボランティア講座をひらきます。当日は富士新報福祉事業団理事長、枝見静樹さんの「ボランティアの心」と題する講演とボランティアに関する映画を上映します。



あたたいこころ

□児童用図書十六冊 総社公民館を会場に学習する主婦グループの「いくとこない会」(土橋清枝代表)から同公民館へ。児童用図書四冊 総社町総社二七一一都丸多満喜さんから総社公民館図書室へ。

□キンケイ鳥二羽 平和町二丁目五二四、小沢淳永さんから中央児童遊園へ。
□社会教育映画「シンナーの恐怖」 一巻 前橋遊技場防犯協力会(豊野雅義会長)から市教育委員会へ寄贈。
□現金三千円 南橋町の匿名のかたから。

□石けん五百個・タオル五百枚 日本主婦同盟群馬支部(柏川幸子代表)から社会福祉施設へ。
□女子事務服八十着 日新電気株式会社前橋製作所(小沼義雄所長)から。
□現金四千円 表町二丁目一十一、下村美恵子さんから前橋手をつなぐ親の会へ。

□衣類三十五点 朝日町三丁目一八、奈良三平さんから赤城野荘へ。
□現金一万円 日吉町の一市民のかたから老人福祉のために。
□現金千七百五十円 匿名のかたから。

社会福祉協議会社会福祉事業基金として

□現金五万円 岩神町四丁目十九一八、山崎作太郎さんから。
□現金三万円 前橋華龍太鼓興会のみなさんから。
□現金八千五百円 紅雲町二丁目二十三一八、森格さんから。
□現金二千四百一円 群馬県ボイラー技士協会前橋支部のみなさんから。

□現金五万円 千代田町一丁目三一五、河野正敏さんから。
□現金五万円 岩神町四丁目十九一八、山崎作太郎さんから。

水田転用許可

暫定基準が廃止に

昭和45年から適用されてきた「水田転用の暫定基準」が3月31日まで失効となります。この日以降、この基準による転用許可はされませんので、ご注意ください。詳細については、農業委員会事務局農地係(電話23局三六三四)までお問い合わせください。

最後の市民朝市

28日・立川町大通りで



49年7月から通算17回開かれた市民朝市。これからは地区朝市が引き継いでいきます。

生活三〇〇番

消費者相談・苦情窓口

生活三〇〇番は消費者のための相談、苦情窓口です。せっかく買った商品が不良品だったり、量目不足だったりして、がっかりされた経験はありませんか。生活三〇〇番では、このような時に消費者が不利益を受けないように、苦情のあつ旋もいたします。その他消費生活の相談、苦情、消費生活情報やグループ活動情報にも、生活三〇〇番をご利用ください。

生活の知恵 U・Pとは?

一般的に大型スーパーには、食料品だけで通常四五千種の商品があるといわれています。この多くの商品の中から、消費者が本当に必要とする商品を選ぶことは大変なことです。そこで、今日の生活の知恵では、毎日の買い物に役立つU・P(ユニットプライシン

グ)を取りあげてみました。このU・Pとは、単位価格表示のことです。たとえば、百グラム当たり、または十グラム当たりなどの基本的な単位の価格を表示するもので、商品の質や価格を知り、選択するためのよい判断材料となります。これが小売店の店頭に表示されること

なれば、どの銘柄のどのサイズの商品が安いかが一目でわかり、同時にどの店が安いかどうかの横の比較とともに、いつ安いかどうかの縦の比較も可能となります。

こうした消費者に直接役立つ効果の他に、U・Pが実施されると、同じ種類の商品で価格差があれば、なぜその差があるのか、品質面を消費者は注意するようになり、品質と価格とは、まさにつながっていることがよくわかるようになります。

品名	225g	178円
10g当たり	7円91銭	

(U・Pによる表示)

品名	225g	178円

(いままでの表示)

緑の訪れ 春の植木市

恒例の春の植木市は、北関東植木商組合主催、前橋市観光協会後援で、四月二日(金)、三日(土)四日(日)の三日間、市内立川町通りでひらかれます。県内をはじめ、関東近県から植木屋さん約八十店が参加し、庭木を主に、盆栽・草花・各種苗木と種類も豊富に取りそろえてあります。木々の緑や花で庭や部屋を飾り、心にゆとりのある生活を楽しんでみてはいかがでしょうか。

にぎわった市民展

二月二十九日から三月七日まで、中央公民館で開かれた第十回前橋市民展。昨年来上回る多数の力作が出品され、質、量ともにかなりレベルアップしているとの審査です。

出品点数は、書道、美術両部門合わせて五百九十四点にのぼりました。入賞作品は九十五点で、書道部門では「かなの部」への出品が昨年の倍もあり、注目されました。



多数の力作が出品された市民展

梨の大敵「赤星病」

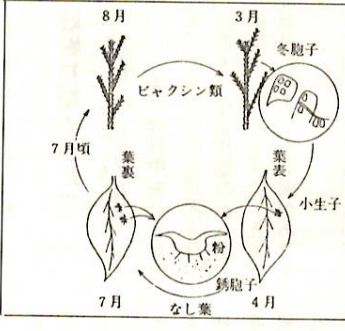
今年もまた梨の赤星病が発生する季節となりました。この赤星病は、庭園樹として植えられているビャクシン類(カイヅカイブキ、玉イブキ、ハイビヤクシンなど)に病原菌があり、梨園に大きな被害を与えています。

赤星病の病原菌は、ビャクシン類と梨の木を往復して生活しているもので、八月から三月ごろまでビャクシン類に寄生し、四月中旬から胞子となって飛び散り、付近の梨の木の若葉に付き、そこで繁殖し梨園全体に広がる恐ろしい病気です。

特にビャクシン類の植えてある場所と梨の木の距離が近いほど赤星病が発生しやすい、立地条件によっては二キロ以上も菌が飛ぶこともあります。この恐ろしい赤星病を予防するためには、ビャクシン類の抜き取りが最も効果的な方法です。梨園のある付近のみならず、梨園の現状を理解していただき、ビャクシン類をできるだけ植えないようにご協力ください。

また、現在植えてあるビャクシン類なども、できるだけ他の樹木に替えていただければ、梨生産農家の人たちがどんなに助かるか知れません。なお、梨園付近のみなさんの庭に植えられているビャクシン類を、梨生産農家の人たちが三月下旬から四月中旬にかけて消毒のため、お問い合わせがりますのでご協力をお願いします。

梨の赤星病生活史



詩のふるさと・前橋

草野心平 ①

神明町

芸術院会員の草野心平さんと、前橋の関係は深い。草野心平著「わが青春の記」によれば「上州という言葉の持つ音感がまず私をひきつけた。私たちは前橋へ行くことに決めた。赤城、榛名、荒船、そして浅間、初めて見る上州の景色は見事だった。旅ではなく、私は前橋に住もうと咄嗟にきめた」。

このように草野心平の前橋行はなにか偶然のことであつた。それは昭和三年の夏の終りのことであつた。「私たちは早速、かじや捜しにうろつきまわつた。神明町の二軒長屋の一つにかしやの紙がはつてあつた」。

「わが青春の記」ともかく落着く先が必要であつた。さういふことに友人横地尚次郎氏(平和町二丁目在住)などのほかに、若き日の草野夫妻は長屋の一軒を借りたことになつた。ここでの生活は今日では考えられない程の窮乏生活であつたらしい。食卓がわり

の新聞紙、電灯のないランプ生活。炭俵一つと七輪だけ。パケツすらなかつたという。鶏のガラを買つて来てはスープを作り、あとの骨は醤油をつけて照り焼きにし、たべられる極限までしゃぶり、かじりつく食生活であつた。草野心平は書いている。こうしたバイタリティは、並の人間を超越したもので、後の草野詩学の核として、今日、その作品の中に人間臭い精神をみることが出来るのである。

この神明町の家はどのあたりだつたのだろうか。昭和四十七年の五月、前橋市立図書館で行われた「湖太郎忌」に草野心平は講師として来橋した。その折り、かつての神明町の家あたりを歩いてみたいということで、案内したことがあつた。遠い青春時代の草野心平の記憶は確かだつた。現在の神明幼稚園(大手町三丁目)の北側に小路がある。西に向つて歩くと路は自然に左に折れる。源英寺の塀に沿つて風呂川に注いでいる。この路の南側の一角である。このあたりは昭和二十年八月の戦災からもまぬかれ、戦前のまゝの家が残つていた。「道から少し入つたところで、二軒長屋が二棟あつて、その前に共同井戸があり



神明幼稚園北側の小路

のポンプだつたように思います。その向うにお寺の塀があつたのを覚えていていいます。」と云われた。その日は、あいにく雨であつた。雨であつたというより、そこを訪れた頃から、雨は降りだしたのであつた。草野心平は小路をいったり来たりして、ひとつひとつ、四十余年前のことを思い出すように雨に濡れていた。古い家並。詩人の背中に降る雨。八凄烈な前橋生活と書いた草野心平の中に、どんな思いが去来したことだろう。



題字・伊藤信吉 (66)